

## 青梅市社会教育委員会議 4 月定例会会議録

令和 3 年 4 月 2 0 日  
2 0 6 会 議 室  
出席者 委員 1 0 名  
(うちリモート 1 名)  
事務局 3 名

### 1 委嘱状交付

【事務局】 教育部長から刀禰委員に委嘱状交付

【部 長】 新型コロナウイルス感染症の影響で生活が大きく変わった。社会教育の果たすべき役割は何があるのか改めて問い直されている。青梅市の社会教育の発展のため、御尽力いただきたい。

～委員・事務局自己紹介～

### 2 開 会

【議 長】 定期総会はつつがなく成功に終わった。この 1 年を過ごすために、足掛け 3 年かかった。我々の役目を過ぎただけで、東京大会は今年が本番である。今後も皆さんの協力を賜りたい。

【課 長】 土曜日はありがとうございました。成功裏で終わることができた。今後は府中市が会長となって進めていくことになるが、青梅市もバックアップをして進めていきたい。

### 3 報告事項

#### (1) 人事異動について

(報告資料 1)

【事務局】 事務局から概要説明。

～質疑なし～

#### (2) 令和 2 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

ア 日 時 令和 3 年 4 月 1 7 日 (土) 午後 1 時～

イ 場 所 ネットたまぐーセンター (青梅市文化交流センター)  
多目的ホール

#### ウ 出席者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	山川	横手	園田
現地	現地	現地	オンライン	現地	現地	現地	現地	現地	現地

事務局：浜中、和田、土屋、田畑、長谷川、福岡

【事務局】 事務局から概要説明。皆さんのお力添えで成功裏に収まった。リモートで神山委員に音声の確認など、いろいろな部分で力になっていただいていた。

【委員】上手くできたと思う。佐藤先生の講演は、幅広くいろいろな活動を提示していただき、勉強になった。女性の孤立化・自殺率の増加については何かできないかと感じた。

【委員】会計のセリフがかなり長く、間違えが多くて申し訳なかった。

【委員】佐藤先生の講演は勉強になった。自分でも何かできることはないか考えた。コロナ禍の中で心配された方も多かった。しっかり換気していることを事前にわかりやすくきちんと伝えて開始した方が安心感につながったのではないか。

【委員】受付で、委員の名札に「様」がついているのが付けづらい、ということ言われた。休憩時間に、講演会の開始時間がわからないと受付で言われた。スケジュールを上手く示せていればよかったと思う。佐藤先生の講演は、いつも元気をもらう。私の活動についても、元気をもらえた。「みんな」とつながる、「みらい」とつながる、ということが大事だと思った。自分の生きがい・趣味の実現だけに矮小化されているという指摘も領けた。自分の活動にも生かしていきたい。

【委員】こういう講演会を聞いたのは初めてだった。勉強になった。ハイブリッド開催は所属団体でも何度か実施しているが、音声トラブルなどが発生しやすい。改善していけるといい。

【委員】入り口で対応していたが、事務局と委員の席が離れており、どちらがどちらかで説明が難しかった。席次表を配布する予定だったが、どこにあるかわからず大変だった。席が近ければ、案内がしやすかったのではないかと思う。講演会は公民館・市民センターを中心に地域へ、という話になるので、自分の地域にあてはめながら聞いている。最後の質問で、一般の人は安く部屋を借りられる場所というイメージであるという話があった。事業をやりたいとなっても、近くの市民センターは稼働率も高い。地域の方と触れ合える場は文化祭であるが、「こんなにいろいろなクラブがあるのか」と思うが、そのほとんどが高齢者である。一般市民に知られていない。文化祭を見に来るのも高齢者である。若い方にもっと来てほしいが、来てくれるような上手い方法がないか、と考えてみたいと思った。

【事務局】席が委員と事務局が分かれているのは、委員しか議決権がない中、間違えて手を挙げる事務局が多いため、委員と分けている。

【委員】司会者として思ったことは、定期総会ということで決まったこと・ふさわしいことを優先し、プラスアルファをあまり言わなかった。新型コロナウイルス対応の話をもっとしてもよかったのではないかと思う。排煙窓のアナウンスをしたが、自分自身がよくわかっていなかった。収容人員からすると、人の間隔は十分だが、カラの椅子がなかったので、離れている感が薄かったのではないか。そういったことが分かりやすいようなアナウンスができればよかったと反省した。リモートで何度もリハーサルをしたようで、結果的には何とかなってよかった。講演会では、つながる力について説得力もあり、事例も豊富だった。元気をいただいた。

【議長】これまで武蔵野・三鷹と経験してきたが、比較しても遜色はなかったと思う。リモートという新しい試みもあり、実験的な試みを実施できた。講演会は、社会教育は不要不急ではなく必須の仕事だということが皆さんに届いたのではないかと思う。佐藤先生の講演は、社会教育の根本の部分を話していただいた。青梅市は今の市民センターはコミュニティセンターに衣替えして十年が経つ。佐藤先生の話していた公民館とは違う部分はあるが、方法論の問題であり、個人個人が目的意識をもって行っていけばいいのだと思う。

【委員】リモートで裏方だったため、現場で動き回っている姿は見えなかった。リモートの方はスムーズにできたと思う。リハーサルの部分は、講演者の方はリハーサルに同席してもらうのは失礼だったのでないかと思うが、事務局が臨機応変に対応して上手くいった。他市町の方もリモートに慣れてきたのではないかと思う。今後のリモートのあり方など、他の大会等に対して今回の定期総会がいいきっかけになったのではないかと思う。講演会に関しては、青梅市は名称が違うが、地域に根差した「公民館」を作っていくかが今後の課題だと思う。リモートでいい勉強をさせてもらって、いい刺激を受けた。

【事務局】ほかの市町村からアンケートを取っている。集計中であり、次回の会で報告したい。

(3) 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会等事業日程について (報告資料2)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】交流大会があるが、どういうことか。

【事務局】交流大会でブロック研修の報告を行う。2日間開催で分科会を行うことになった場合は、分科会の報告をバルトホールの交流大会で行う。一日開催となった場合は、青梅市でブロック研修を行い、交流大会でブロック研修会の発表をする。

【議長】第一ブロックの当番幹事市として、東京大会で第一ブロックの研修会を兼ねた分科会を行う予定である。皆さんよろしくお願ひしたい。

(4) 令和2年度社会教育委員会議案事項等記録について (報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。

～質疑なし～

(5) 今年度を振り返って(派遣委員報告等)

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

栗原委員 任期 令和2年10月1日～令和4年9月30日

【委員】今年も昨年も新緑祭もなく、何もなかった。

イ 青梅市美術館運営委員会委員

横手委員 任期 令和2年10月7日～令和4年10月6日

【委員】2回会議があった。郷土博物館と美術館を一緒にするという議論で

一昨年は盛り上がっていたが、今は議論が止まっている。意欲的にそれぞれの館で展示をしているので、皆さんも行ってみたい。

ウ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

金子委員 任期 令和元年7月10日～令和3年7月9日

【委員】3回会議があった。学童との一体連携が密になるため実施できなかった。放課後子ども教室自体もかなり人数を減らしての実施になった。またこういう状況になってきたので、コーディネーターの方々も苦労している。

エ 青梅市図書館運営協議会委員

園田委員 任期 令和元年10月1日～令和3年9月30日

【委員】一度だけ会議が実施できなかったが、定期的に話し合いが行われた。新型コロナウイルスの影響で図書館の利用ができないこともあり、苦労されている話を聞いた。

オ 青梅市スポーツ振興審議会委員

市川委員 任期 令和2年5月14日～令和4年5月13日

【委員】3回開催、うち1回書面開催だった。援助および表彰の適否を行った。奥多摩溪谷駅伝競走大会とバーチャルマラソン大会（延期した第55回記念青梅マラソン大会に替わるイベント）の開催報告があった。台風の影響で使えなかった施設（河辺下のテニスコート）について、青梅スタジアムで補うという話があった。スポーツ協会に新しい団体が入るという話があった。

【議長】台風19号での河辺下のグラウンドはどうなったのか。

【委員】復活しているが、テニスコートの半分は復旧できない。少なくなった分を青梅スタジアムに人工芝を入れて対応する。

(6) 青梅市放課後子ども教室について (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、16校で行っている。すでに多くの学校が今年は開始した。学校区協議会で学童とも連携を取りながら行っている。今年度は学童との一体化は現状では行わないが、社会教育課も交じって協議会を行い、対策を練っている。

【議長】開催回数が、五小と小曾木は3桁になっている。他は2桁。違いは何か。

【事務局】他の学校は週1回の実施のところが多い。多い学校は1週間に複数回行っている。

(7) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料5)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】青梅市のイベント系の事業は、上半期はすべて中止するということ聞いたが、社会教育事業はどうするのか。

【事務局】日本語講座・国際理解講座は共催事業でもあり、実施していく。図書館は、緊急事態宣言が発出されるとまた中止になる可能性もある。青少年リーダー育成研修会は赤城に宿泊研修へ行く予定であるが、状況によっては変更

になる可能性がある。それぞれ新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたいが、できるだけ10月以降に事業実施の計画を考えている。ワクチン接種に職員が協力していく予定であり、事業に人員がさけない場合もある。

【議長】第四波の影響で、計画した事業が流れる可能性も考えられる。その都度の判断となると思うが、注意して取り組んでいただきたい。

(8) その他  
特になし

#### 4 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議3月定例会会議録について (協議資料1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(2) その他

【事務局】定期総会の後、東京大会を1日開催にするか通常どおり開催するか、2日開催だけど親睦会などを行わないか、どうしたいかという話を事務局と府中市会長とで行った。5月7日に実行委員会が実施されるが、その際にある程度の方向性を出したほうがいいのではないかという話になっている。5月10日を超えるとキャンセル料がかかる。また、5月に関プロの理事会もある。委員の皆さんの忌憚ない意見を伺いたい。

【議長】2日間開催をベースとして、腹案の1日開催を上げつつ、進めてきた。初めての年ではなく、コロナ2年目である。東京大会が実施できないと、どうなのかと言われるような気もする。

【委員】ワクチンの状況が読めない。いろいろな学会もリモートで実施するという案もあるが、部屋の費用もある。終息していなかった場合、費用面でも参加者に影響が出るのではないか。2日間開催できるに越したことはないが、実際問題を考えると難しいのではないか。

【委員】オリンピックができるかという問題もある。先が見えない。また緊急事態宣言が出るという話もある。今の時点で決めなければいけないのであれば、1日に凝縮して、内容を素晴らしいものにするというのがいいのではないか。今の時点で決めるのが正解かはわからない。

【委員】コロナも2年目なので、対策を考えてやっていくのがいいと思う。先に進まないのは問題だと思う。ただ、この大会に参加したことがないので何とも言えないが、できるのならやったほうがいいと思う。

【委員】5月7日という不安な状況の中での決定となると思う。2日間やるということにしたほうがいいと思う。リモートが大前提になる。

【委員】2日間できたほうがいいと思うが、緊急事態宣言が近々出そうで心配はしている。リモートをうまく利用しながら2日開催がいいと思う。

【委員】2日間やるべきであると思うし、府中市がやるというのなら、み

んなで支えていくべきだと思う。

【委員】ワクチンの状況もよくなると思う。準備は進めておけば、2日間でできると思う。よくなって2日に変えようということはない。

【委員】担当の府中市の判断に従っていくのがいいと思う。個人的意見を持たずにいる。

【委員】今の状況で11月の議論は無理。2日間開催で動いて、万が一の事態が起き、状況が拡大しているようであれば、第2案・第3案を提示していくべきだと思う。2日間の開催で進めつつ、現実的・物理的な代替案へ差し替えて行っていくのがいいのだと思う。しかし、キャンセル料の問題もあり、無駄なお金を使いたくないというのもあると思う。開催市に主導権がある。

【議長】意見をまとめることは難しい。府中市がどういう判断をするかにかかっている。それをどうサポートしていくか。予算は、2日開催の予算も1日開催の予算も組んでいる。協賛をいただく方について考えると、2日開催にして、多くの方に広告できるのがいいのではないかと思う。各市町の社会教育委員の方がどこまで協賛金を集められるかにかかっている。少し積極的な姿勢を持っていくのもいいのではないかと思う。

## 5 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会

5月18日（火）